

GoTo100円商店街

事業実施主体：協同組合南本町商店街、協同組合新庄駅前通り商店街
協同組合北本町昭和会、協同組合新庄中央通り商店会
事業実施箇所：山形県新庄市
商店街店舗数：計177店舗

- 事業実施地域はJR新庄駅と新庄城跡を結ぶように連なる商店街と、枝分かれする商店街で構成されている。付近には市役所があり、新庄市の中心市街地といえる。
- 爆発的な集客力と販促効果がある100円商店街を、複数日に分けて開催することにより需要の平準化を図る。さらに、次につながる仕掛けにより、コロナ禍で疲弊した地元経済の立て直しを図る。
- 新しい生活様式を踏まえた集客策を実施することで、今後も地元消費者に安心して来街してもらう。

背景・課題

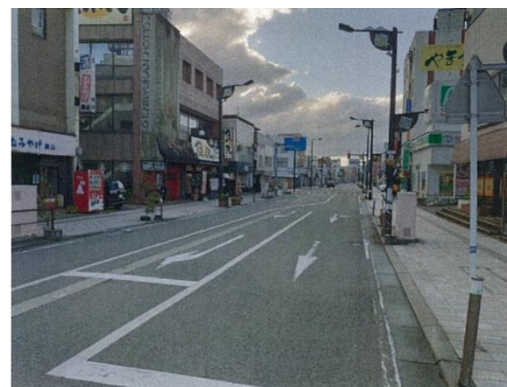
- ✓ 買い物客の商店街離れや高齢化による閉店等により商店街の衰退が加速しているなか、コロナ禍により壊滅的な影響を受けている。
- ✓ 新たな生活様式を踏まえた集客策の実施と、通常営業日への客足のシフトという集客の平準化が課題である。

取組内容

- ✓ 100円商店街について、週1回ずつ、計5回の開催とし、来街者、来街時間を分散させる。
- ✓ 全長2kmにわたる商店街なるべく多くの店舗が参加することで、来街者に隅々まで足を運んでもらう。
- ✓ 「次につながる仕掛け」として、各店舗において100円で100円以上の価値のあるサービスチケットを販売する。

見込まれる効果等

- ✓ 100円商店街の開催日を分散させることで、集客の分散化を図りつつ、来街者と商店の会話を通して、消費者や地域のニーズを収集する。
- ✓ 商店街の隅々まで足を運んでもらい、利用したことがなかった店舗等の新たな発見や、商店街ならではの魅力を再確認してもらう機会とする。
- ✓ 各店舗においてサービスチケットを販売することにより、イベント開催時以外の通常営業日への来街を促す。



商店街のようす